

# 令和5年度の主な事業

「子育てするなら守山!」「住むなら守山!」「働くなら守山!」「市民が主役の守山!」を4本柱として施策を展開します。また、北部図書館、(仮称)伊勢遺跡史跡公園のオープンに向け整備を進めるとともに、暫定供用開始となる新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、自治体DXのさらなる推進に取り組みます。

(予算額は、1万円未満を切り捨てて記載)

継続

## 子ども通院医療費助成(通年化)

6,473万円

子育て支援のさらなる拡充に向け、小学4～6年生の子どもの医療費助成を引き続き実施します。

国保年金課

継続

## 環境学習都市の推進

923万円

もりやまエコパーク交流拠点施設を環境学習の拠点とし、学校や市内事業所と連携した環境学習に加え、子どもから大人まで楽しく参加できるさまざまな環境学習を実施します。また、琵琶湖や野洲川など、恵まれた自然環境を活かしたフィールドワークの実施など、プログラムの充実を図ります。さらに、環境センターの施設見学や環境学習に加え、講演会やワークショップなど、さまざまなイベントを盛り込んだ「もりやまエコフェスタ」を開催します。

環境政策課



## 柱1

### 子育てするなら守山!

令和4年度に小学6年生まで対象を拡充した子どもの通院医療費助成の継続や、学校司書、やすらぎ支援員配置の充実、保育士等特別配置事業費補助金の拡充など、子育て支援・教育環境の充実を進める中、引き続き保健・福祉・教育が横断的に連携した施策に取り組みます。

新規

### 紙おむつの処分を園で実施

224万円

保護者負担の軽減、衛生面の不安解消、保育士の負担軽減などを目的に、市内認可保育所などでの紙おむつの処理を「持ち帰り」から「園での処分」に変更します。

保育幼稚園課

新規

### 子育て環境の向上

1億6,733万円

より質の高い保育の実現に向けて国の配置基準を上回る手厚い保育士配置を行うための補助金の拡充、送迎バスへの安全装置の設置費の補助、保育所入所選考A1システムなどの導入による申し込みから決定までの期間短縮化により、子育て環境の向上を図ります。

保育幼稚園課

拡充

### 学校司書の配置

542万円

学校司書を3人増員し、すべての市立小中学校で週1回から週2回配置へ拡充します。学校図書館を活用し、子どもたちが本に親しみ心豊かな学校生活を送れるように支援します。

図書館

拡充

### やすらぎ支援相談員の配置

850万円

不登校をはじめとする学校不適應児童生徒の増加に伴い、新たに市内全小学校にやすらぎ支援相談員を配置するとともに、中学校の配置人数も拡充し、教室復帰支援や悩み相談など、児童生徒をさらに支援します。

学校教育課

拡充

## 消防団の充実強化

862万円

地域の防災体制の中核的役割を担う消防団員の年齢報酬について、全国的な消防団員の担い手不足や、激甚化・多発化する災害への対応により、消防団員の負担が増加していることなどを踏まえ、国から示された基準をもとに改定します。

危機管理課



拡充

## 結婚新生活支援補助金

600万円

新婚世帯の新生活を応援するため、補助金の対象となる所得要件を引き上げます。

- ・ **補助金上限額** 30万円/世帯。新婚世帯とその親が同居する場合は60万円
- ・ **所得要件** 夫婦の合計所得金額が、500万円未満(令和4年度までは400万円未満)

企画政策課

継続

## 障害福祉サービスの給付

15億4,434万円

障害者総合支援法に基づく生活介護やグループホームなどの障害福祉サービスの給付を行い、障害のある人の生活支援や相談支援の充実を図ります。

障害福祉課

継続

## 障害児通所サービスの給付

5億7,691万円

児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付を行い、障害のある児童の発達支援や相談支援の充実を図ります。

障害福祉課

## 柱2

### 住むなら守山！

医療・介護の連携強化や高齢者・障害者・生活困窮者などが安心して生活できる環境の構築として、重層的支援体制の充実や障害・介護サービスの安定的な予算確保に努めるとともに、地域防災の根幹である消防団員の処遇改善を図るなど、だれもが住み慣れた地域で住み続けられるための施策に取り組みます。

拡充

## 重層的支援体制の整備

2億2,702万円

地域共生社会の実現に向け、「属性を問わない相談支援」、「社会参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施します。

### ●包括的相談支援事業

学区担当制を継続する中、民生委員・児童委員や圏域地域包括支援センター、スクールソーシャルワーカーなど、地域との連携をさらに深め、8050問題など、市民が抱える家庭の課題やニーズに対応するため、家族まるごとの相談支援体制を強化します。

### ●多機関協働事業

関係機関の連携をさらに進め、重層的支援会議による支援方針などの決定や、支援の創出によりケースの解決力向上を図ります。

### ●アウトリーチなどを通じた継続的支援事業

支援機関につながっていない人（ひきこもりの人など）をさまざまな情報をもとに早期に把握し、支援員による訪問などを通じて継続的に支援します。

### ●参加支援事業

コーディネーターを配置し、就労、市民活動、ボランティア活動など、一人ひとりに応じた多彩な社会参加を支援します。

### ●地域づくり事業

コーディネーターを配置し、世代や属性を越えて交流できる場や居場所づくりを支援することを通じ、絆づくりやさまざまな気づきから住民活動を生み出していきます。

**健康福祉政策課、生活支援相談課、すこやか生活課、長寿政策課、地域包括支援センター、障害福祉課、子ども政策課**

拡充

## 人間ドック・脳ドック・骨密度検診 利用助成

1,363万円

検査費用の助成金額を、これまでの2分の1から3分の2相当額に拡充します。

国保年金課

継続

## 起業・創業の支援

570万円

ベンチャー企業の集積やオープンイノベーションの推進、新たな起業や事業の創出など、地域における雇用の創出や地域活性化に向け取り組みます。

民間主導の取り組み支援、市を挙げた企業支援の機運醸成と体制整備、若い世代の人材育成を通して官民連携により、市内外から「起業家の集まるまち」を目指します。

### ●スタートアップ集積推進事業

本市を舞台に、県内外から起業家・投資家が集まるイベントの開催や、地域の課題解決に向けた起業家やベンチャー企業との官民連携によるモデル事業を実施します。

### ●官民起業相談・支援体制構築事業

官民の支援機関と起業支援に向けた情報共有の場づくりと、新庁舎などを活用し、支援機関と連携したイベントや起業相談体制の構築に向けた検討・調査を行います。

### ●次世代起業家教育プログラム事業

市内外の起業家や企業、教育機関と連携を図る中、県内中高生を対象とする起業家教育プログラム「キャリアチャレンジ」および成果報告会「びわ湖ピッチ」を行います。

商工観光課



## 柱3

### 働くなら守山！

農水産業をはじめとする市内産業活性化の施策や、市内での起業・創業の支援に引き続き取り組むとともに、企業誘致を契機としたJ R守山駅東口のあり方検討を進めます。また、コロナ禍で自粛していた市内イベントなどの補助を実施するなど、働く場とにぎわいの復活を目指します。

新規

### モリヤマメロンパッケージ支援補助金

375万円

安心して就農できる環境を目指して、就農後3年間に必要な経費を補助します。

- ・補助率 50～100%
- ・上限額 375万円
- ・対象者 モリヤマメロンを専作する認定新規就農者など
- ・補助内容 家賃補助、農地補助、生産資材経費補助など

農政課

継続

### モリヤマメロン生産施設整備事業補助金

1,250万円

モリヤマメロン既存生産者の栽培面積の拡張を支援します。

- ・補助率 50%
- ・上限額 125万円/棟
- ・対象 モリヤマメロン生産部会員が新規に拡張整備するハウス

農政課

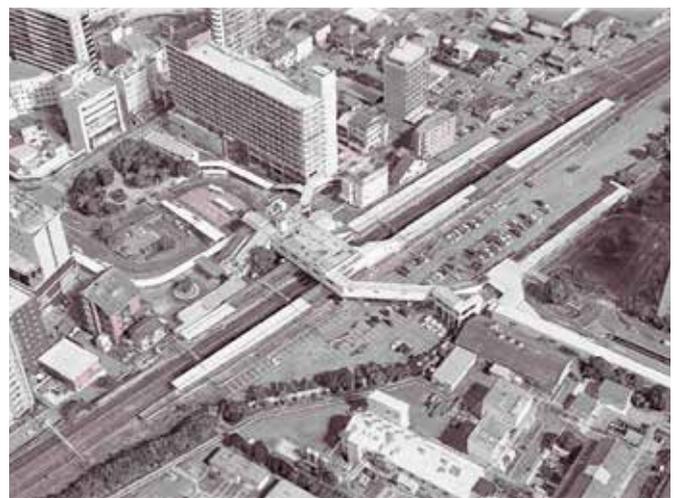
継続

### J R守山駅東口のあり方検討

2,300万円

市民アンケート実施するなど、幅広く意見を聴取する中で基本計画を策定します。

都市計画・交通政策課



## 自治体DXの推進「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」

新規

3億2,378万円

守山市版DX推進方針に基づき、各部署でのDX(業務プロセスの再構築など)に取り組むとともに、国が進める標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

### ●統合型GISの導入

部局ごとに保有する地図情報データを統合し、まちづくり(都市計画)、道路、ハザードマップなど、幅広い情報をオープンデータ化し、これまで直接窓口で照会していた地図情報をリアルタイムに提供し、利便性の向上を図ります。

### ●保育所入所選考AIシステムなどの導入

保育所入所選考にAIシステムなどを導入し、業務の効率化を図ります。また、令和6年度には申し込みから結果通知送付までの期間を、従来の3ヵ月から2ヵ月に短縮するとともに、オンライン申請に対応することで、マイナンバーカードを活用して自宅から入所申し込みができるよう市民の利便性の向上を図ります。

### ●訪問調査モバイルの導入

紙資料をデータ化することにより、効率的な要介護認定調査を可能とし、件数が年々増加する調査に適切に取り組めます。

### ●AI技術を活用した消費エネルギー最適化システム

新庁舎でAIによる空調・換気設備の制御を行うことで稼働効率を最適化し、消費エネルギー量の削減を行います。また、蓄電池システムと連携し消費電力のピークカットを行います。

ICT政策課、企画政策課、保育幼稚園課、介護保険課、庁舎整備推進室

## 地域学校協働活動

新規

20万円

地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者などの参画により地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進します。

社会教育・文化振興課

## 市民活動の支援

継続

49万円

地域のさまざまな団体の市民活動を応援するため、市民参画手法の活用などによりまちづくりに関わる市民を増やし、市民活動の活性化を図ります。また、市民の力や地域の絆でつながるまちづくりを推進するため、令和6年度の「中間支援組織」の立ち上げに向けて取り組めます。

市民協働課

## 柱4

### 市民が主役の守山！

「わ」で輝く自治会応援報償事業のメニュー拡充による自治会活動の支援の充実や、市民活動の中心を担っていく中間支援組織の構築に向け検討するほか、9月に暫定供用開始予定の新庁舎では、市民の皆さまの利便性向上に向けたDXの推進やコンシェルジュの配置などを実施します。

新規

## 北部図書館の開館

413万円

開館に向けて整備を進めます。また、より多くの市民の皆さまが本に親しみ、読書の楽しさを知り、末永く愛される施設となることを願い、12月中旬に直木賞作家・今村 翔吾さんによる開館記念講演を開催します。

図書館



新規

## 自治体DXの推進 新庁舎における「窓口のスマート化」

5,722万円

新庁舎では、市民の皆さまの利便性の向上を図るため、住民異動受付窓口支援システム、番号発券機、証明書交付マルチコピー機などを導入します。

市民課および税務課窓口コンシェルジュを配置し、来庁者の目的に応じて、適切かつ丁寧に手続きの案内などをするほか、証明書の手数料支払いに、キャッシュレス決済を導入します。

ICT政策課、市民課、税務課



イメージ 窓口・待合スペース

継続

## 新庁舎整備

21億7,568万円

災害時の中枢拠点として市民の安全を守りぬく庁舎とすべく整備を進め、8月中旬に新庁舎へ移転し、引き続き現庁舎の解体工事を行います。

庁舎整備推進室



継続

## (仮称)伊勢遺跡史跡公園整備

1億5,266万円

令和2年度から造成工事、令和3年度から遺構展示施設や管理棟の建築工事に着手しました。令和5年度は館内の展示物の整備と外構工事に着手し、11月の供用開始を目指します。

文化財保護課



ピックアップ

# 新庁舎『つなぐ、守の舎』 市役所大ホール解体・駐車場整備工事のお知らせ

関庁舎整備推進室 ☎(584)5926 📠(582)0539

新庁舎整備に伴い、市役所大ホールの解体と来庁者用駐車場の整備を行うため、4月24日(月)から下記の通り来庁者用駐車場に工事車両が進入します。

工事中は駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関の利用や、自転車、徒歩でお越しいただくなど、できる限りマイカーでの来庁を避けていただきますようご協力お願いします。

4月24日(月)～8月下旬

